



くまがいっぱい



こぐまのくまくん

モーリス・センダック え E・H・ミナリック ぶん
まつおか きょうこ やく 福音館書店 E-セ

ゆきがふってさむいので、こぐまのくまくんはおかあさんに「なにかきるものがほしい」といいました。そこでかあさんぐまは、くまくんにぼうしをこしらえてあげます。くまくんはぼうしをかぶってそとへでていきますが、すぐにもどってきました。そこで、かあさんぐまは、こんどはオーバーをこしらえてあげます。オーバーをきてそとへでていくくまくんですが、また、すぐにもどってきました。(『くまくんとけがわのマント』)

パディントンのラストダンス

マイケル・ボンド 作 田中 琢治/松岡 享子 訳
福音館書店 933-ボ

パディントンは今夜の舞踏会を最大限たのしもうと、朝からダンスの練習をして出かけました。舞踏会ではドラムがたたかれ、コンテストを開始することが告げられます。パディントンはスミス=コームリー夫人と踊ることになりましたが、パディントンの足の爪が、夫人の靴のストラップにひっかかってしまいました。パディントンが顔をあげると、夫人の顔はとても妙な色になり、変なふうにからだをくねくねと動かしはじめたのです。

くまのコールテンくん

ドン=フリーマン さく まつおか きょうこ やく
偕成社 E-フ

おおきなデパートのおもちゃうりばにいるコールテンくんは、だれかがうちにつれていってくれないかなあとおもっていました。あるあさ、おんなのこがコールテンくんをほしがりましたが、おかあさんはつりひものボタンがとれているといいます。コールテンくんはそのばんおそく、おみせのとがしまると、たなからおりてとれたボタンをさがしにいきました。

マタギに育てられたクマ 白神山地のいのちを守って

金治 直美文 佼成出版社 489-カ

春、吉川さんは近所に住む直じいさんと狩りに出かけました。子グマのいる穴の前をうろつかれることに腹を立てたクマが、直じいさんを追いかけてきます。直じいさんにせまるクマに、吉川さんがライフルの引き金を引きました。しかしたおれたクマは母グマで、マタギのしきたりでは子グマのいる母グマは撃ってはなりません。そこで、吉川さんは母グマを失った二匹の子グマを連れて帰ることにしました。

クマのプーさん

A. A. ミルン 作 石井 桃子 訳 岩波書店 933-ミ

プーはハチミツをたべようと木にのぼりました。ところが、枝にのっかろうとしたところでおっこってしまいます。かんがえたプーはクリストファー・ロビンのところへいき、風船をもっていないかたずねます。クリストファー・ロビンが「風船、なんにつかうの？」ときくと、プーはヒソヒソ声で「ハチミツ！」とこたえました。

テディベアとどうぶつたち

ベルンハルト・オーバーディーク 絵 ミヒヤエル・エンデ 文
ささき たづこ 訳 岩波書店 E-オ

テディ・アエルがいつものようにソファにすわっていると、ハエが一匹はなさきにとまりました。ハエに「なんのために生きてるんだらうね」といわれたテディはあれこれ考えます。そこで、自分がなんのために生きているのかだれかにおしえてもらおうと、テディはネズミやミツバチ、白鳥などにたずねていきます。

ウーフとツネタとミミちゃんと

神沢 利子 作 ポプラ社 913-カ

くまの子のウーフはりんごの木をうえたいと思い、ぼうきをさがしにいけます。ウーフはうちへかえり三本のぼうを地面にさして、まい朝水をやりました。しかし、ぼうがなかなかのびません。そこでウーフは、りんごのなりかたをぼうに教えるために、りんごの木のところへ出かけていきます。(『うさぎの花』)